

3 数値目標

項目	現 状	令和11年度末目標 (2029)
全てのがん検診受診率 (国民生活基礎調査)	男性 胃がん : 51.8% 肺がん : 59.1% 大腸がん : 50.9% 女性 胃がん : 43.4% 肺がん : 56.3% 大腸がん : 47.3% 子宮頸がん : 49.4% 乳がん : 52.7% R4年 (2022)	60.0%以上
がん検診精密検査受診率 (市町村実施分)	胃がん : 85.2% 肺がん : 79.8% 大腸がん : 75.0% 子宮頸がん : 83.6% 乳がん : 93.7% R2年度 (2020)	90.0%以上
がんの75歳未満の年齢調整死亡率 ^{※1} (人口10万対) ※基準人口は、昭和60(1985)年 モデル人口を使用	61.4 (全国4位) R4年 (2022)	56.7
緩和ケア研修修了医師等数(累計)	3,200人 R4年度 (2022)	4,500人
がん患者の在宅死亡割合 (在宅=自宅+老人ホーム+老健)	22.8% R4年 (2022)	27.0%
がん患者の専門的な看護を行う 専門看護師 ^{※2} ・認定看護師 ^{※3} ・ 特定認定看護師 ^{※4} の増加	83人 R4.12 (2022)	110人
がん相談支援センターの相談件数	15,525件 R4年度 (2022)	18,000件
がん登録精度(DCI割合 ^{※5})	2.3% R元年 (2019)	2.1%以下

がん登録精度（DCO割合※6）	1.3% R元年 (2019)	1.0%以下
「岡山がんサポート情報」の閲覧件数	411件/月 R4年度 (2022)	650件/月

※1 年齢調整死亡率

都道府県別に、死亡数を人口で除した通常の死亡率を比較すると、各都道府県の年齢構成に差があるため、高齢者の多い都道府県では高くなり、若年者の多い都道府県では低くなる傾向があります。このような年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるように、年齢構成を調整した死亡率が「年齢調整死亡率」（人口10万対）です。

※2 専門看護師

複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して水準の高い看護ケアを効率よく提供するため、特定の専門看護分野の知識・技術を有し、日本看護協会が実施する認定審査に合格した看護師です。がん関係には「がん看護」専門看護師があります。

※3 認定看護師

特定の看護分野における熟練した看護技術及び知識を用いて、あらゆる場で看護を必要とする対象に、水準の高い看護実践をするために、特定行為研修を組み込んでいないA課程（令和8（2026）年度をもって教育を終了）を受講し、日本看護協会が実施する認定審査に合格した看護師です。がん関係には「緩和ケア」、「がん化学療法看護」、「がん性疼痛看護」、「乳がん看護」、「がん放射線療法看護」認定看護師があります。

※4 特定認定看護師

認定看護師（A課程認定看護師）で特定行為研修の修了者または、特定行為研修を組み込んでいるB課程の認定看護師教育の受講者で、日本看護協会が実施する認定審査に合格した看護師です。がん関係には「緩和ケア」、「がん薬物療法看護」、「乳がん看護」、「がん放射線療法看護」特定認定看護師があります。

※5 DCI割合

市町村への死亡票（死亡診断書）情報で初めて登録されたがん患者で、補充調査（当該がん患者を診療した医療機関に対して行う確認調査のこと。）で把握された患者及び死亡票情報のみの患者の割合です。

※6 DCO割合

死亡票情報で初めて登録されたがん患者で、かつ、補充調査（当該がん患者を診療した医療機関に対して行う確認調査のこと。）を行っても診断や治療の情報が医療機関から届出されないために経過が不明の患者の割合です。

【がん】

【ストラクチャー指標】 ※医療サービスを提供する物質資源、人的資源及び組織体制を測る指標

区分	指標名		調査年 (周期)	調査名等	現状		備考
					全国	岡山県	
1次予防	禁煙外来を行っている 医療機関数	一般診療所	R2年 (2020)	医療施設調査	13,564施設 (10.8施設)	218施設 (11.5施設)	(人口10万対)
		病院	(3年毎)		2,594施設 (2.1施設)	61施設 (3.2施設)	
2次予防	敷地内全面禁煙をして いる医療機関の割合	一般診療所	R2年 (2020)	医療施設調査	82.8%	79.5%	
		病院	(3年毎)		90.7%	91.9%	
医療	がん診療連携拠点病院等の数		R4年度 (2022) (毎年)	厚生労働省 とりまとめ	453施設 (0.4施設)	9施設 (0.5施設)	(人口10万対)
	がん治療認定医数		R5年 (2023) (毎年)	日本がん治療認 定医機構HP	18,009人 (14.3人)	353人 (19.0人)	(人口10万対)
	がん専門看護師の数		R4年 (2022) (毎年)	日本看護協会 取りまとめ	1,036人 (0.8人)	17人 (0.9人)	(人口10万対)
	がん専門薬剤師の数		R5年 (2023) (毎年)	日本医療薬学会 取りまとめ	786人 (0.6人)	17人 (0.9人)	(人口10万対)
	緩和ケア研修修了者数		R3年度 (2021) (毎年)	がん等における 新たな緩和ケア 研修等事業	10,404人 (8.2人)	199人 (10.6人)	(人口10万対)
	リンパ浮腫外来を設置している 拠点病院		R4年度 (2022) (毎年)	がん診療連携拠 点病院等の現況 報告書	259施設 (0.2施設)	2施設 (0.1施設)	(人口10万対)
	専門的疼痛治療を実施 可能な拠点病院	神経ブロック	R4年度 (2022) (毎年)	がん診療連携拠 点病院等の現況 報告書	327施設 (0.3施設)	7施設 (0.4施設)	(人口10万対)
緩和的 放射線治療			452施設 (0.4施設)		9施設 (0.5施設)	(人口10万対)	
緩和ケア病棟を有する 医療機関数・病床数	病院	R2年 (2020)	医療施設調査	479施設 (0.4施設)	8施設 (0.4施設)	(人口10万対)	
	病床	(3年毎)		9,498床 (7.5床)	147床 (7.8床)	(人口10万対)	
末期のがん患者に対して 在宅医療を提供する医療機関数		R3.3.31 (2021) (毎年)	診療報酬 施設基準	12,980施設 (10.2施設)	266施設 (14.2施設)	(人口10万対)	
専門医療機関連携薬局の認定数		R4年度 (2022)	厚生労働省 とりまとめ	135施設 (0.1施設)	2施設 (0.1施設)	(人口10万対)	
相談員研修を受講した相談員の人数		R4年度 (2022) (毎年)	がん診療連携拠 点病院等の現況 報告書	2,335人 (1.9人)	50人 (2.7人)	(人口10万対)	
両立支援コーディネーター研修 修了者数		R3年度 (2021)	事業報告 (労働者安全機構)	4,556人 (3.6人)	84人 (4.5人)	(人口10万対)	
アピアランス支援研修修了者数		R4年度 (2022)	事業報告	1,776人 (1.4人)	19人 (1.0人)	(人口10万対)	

【がん】

【プロセス指標】 ※実際にサービスを提供する主体の活動や、他機関との連携体制を測る指標

区分	指標名		調査年 (周期)	調査名等	現状		備考	
					全国	岡山県		
1次予防 ・ 2次予防	がん検診受診率	胃がん	R4年 (2022) (3年毎)	国民生活基礎 調査	41.9%	47.7%		
		肺がん			49.7%	57.7%		
		大腸がん			45.9%	49.2%		
		子宮頸がん			43.6%	49.4%		
		乳がん			47.4%	52.7%		
	がん検診精密検査 受診率	胃がん	R3年度 (2021)	地域保健・ 健康増進事業 報告	84.8%	85.2%		
		肺がん			83.5%	79.8%		
		大腸がん			71.4%	75.0%		
		子宮頸がん			76.7%	83.6%		
		乳がん			90.1%	93.7%		
	喫煙率	男性	R4年 (2022) (3年毎)	国民生活基礎 調査	25.4%	25.8%		
		女性			7.7%	6.0%		
		総数			16.1%	15.3%		
	生活習慣病のリスクを 高める量を飲酒してい る者の割合	男性	R3年 (2021)	県民健康調査	14.9%	11.2%		
		女性			9.1%	7.4%		
	運動習慣のあ る者の割合	20～ 64歳	男性	R3年 (2021)	県民健康調査	23.5%	21.6%	運動習慣のあ る者：1回30 分以上、週2 回以上の運動 を1年以上継 続している者
			女性			16.9%	16.7%	
		65歳 以上	男性			41.9%	45.6%	
女性			33.9%			34.0%		
野菜の摂取量が1日 350g以上の者の割合	男性	R3年 (2021)	県民健康調査	－	18.2%			
	女性			－	17.7%			
果物の摂取量が1日 100g未満の者の割合	男性	R3年 (2021)	県民健康調査	－	65.5%			
	女性			－	65.6%			
食塩摂取量が 1日7g未満 の者の割合	7g未満/日	R3年 (2021)	県民健康調査	－	13.2%			
適正体重を維持している者 の割合	20～60歳男性	R3年 (2021)	県民健康調査	35.1%	29.9%			
	40～60歳女性			22.5%	18.0%			
医療	悪性腫瘍手術 の実施件数	一般診療所	R2年 (2020) (3年毎)	医療施設調査	1,416件 (1.1件)	30件 (1.6件)	(人口10万対)	
		病院			57,321件 (45.4件)	1,569件 (83.1件)		
	悪性腫瘍特異物質治療管理料の 算定件数		R3年度 (2021)	ナショナル データベース	13,366,827件 (10,553.8件)	212,746件 (11,341.9件)	(人口10万対)	
	放射線治療の 実施件数 (病院)	組織内照射	R2年 (2020) (3年毎)	医療施設調査	1,128件 (0.9件)	17件 (0.9件)	(人口10万対)	
		体外照射			200,200件 (158.7件)	2,102件 (111.3件)		
外来化学療法 の実施件数	一般診療所 (実施件数)	R2年 (2020) (3年毎)	医療施設調査	8,413件 (6.7件)	51件 (2.7件)	(人口10万対)		
	病院 (取扱患者延数)			305,410件 (242.1件)	5,141件 (272.2件)			
緩和ケアチームによる 介入患者数		R4年度 (2022) (毎年)	がん診療連携 拠点病院等の 現況報告書	98,632人 (78.3人)	1,389人 (74.6人)	(人口10万対)		

区分	指標名	調査年 (周期)	調査名等	現状		備考
				全国	岡山県	
医療	緩和ケア外来の年間受診患者数 (のべ数)	R4年度 (2022) (毎年)	がん診療連携 拠点病院等の 現況報告書	225,897人 (179.4人)	2,560人 (137.5人)	(人口10万対)
	病理組織標本の作製件数	R3年度 (2021)	ナショナル データベース	2,021,552件 (1,596.1件)	35,076件 (1,870.0件)	(人口10万対)
	がんリハビリテーションの 実施件数	R3年度 (2021)	ナショナル データベース	6,075,630件 (4,797.0件)	104,824件 (5,588.4件)	(人口10万対)
共生	がん相談支援センターにおける 相談件数	R4年度 (2022) (毎年)	がん診療連携 拠点病院等の 現況報告書	895,048件 (710.8件)	12,959件 (696.0件)	(人口10万対)
	就労に関する相談件数	R4年度 (2022) (毎年)	がん診療連携 拠点病院等の 現況報告書	27,176件 (21.6件)	326件 (17.5件)	(人口10万対)
	アピアランスケアの相談件数	R4年度 (2022) (毎年)	がん診療連携 拠点病院等の 現況報告書	84,084件 (66.7件)	1,099件 (59.0件)	(人口10万対)
	長期療養者就職支援事業を活用 した就職者数	R3年度 (2021)	長期療養者 就職支援事業 報告	1,896人 (1.5人)	32人 (1.7人)	(人口10万対)
	セカンドオピニオンの提示件数	R4年度 (2022) (毎年)	がん診療連携 拠点病院等の 現況報告書	34,957件 (27.8件)	162件 (8.7件)	(人口10万対)

【アウトカム指標】 ※医療サービスの結果としての住民の健康状態を測る指標

区分	指標名		調査年 (周期)	調査名等	現状		備考	
					全国	岡山県		
1次予防 ・ 2次予防	年齢調整罹患率 (昭和60年モデル 人口)	胃がん	男性	R元年 (2019)	全国がん登録	63.4	71.2	(人口10万対)
			女性			23.1	27.2	(人口10万対)
		肺がん	男性			63.0	67.5	(人口10万対)
			女性			27.7	28.2	(人口10万対)
		大腸がん	男性			99.0	95.2	(人口10万対)
			女性			57.5	56.9	(人口10万対)
		子宮頸がん	女性			58.5	65.1	(人口10万対)
乳がん (女性のみ)	女性	115.9	117.1	(人口10万対)				
医療	75歳未満 年齢調整死亡率 (昭和60年モデル 人口)	肺がん	男性	R4年 (2022) (毎年)	国立がん研究 センターがん 情報サービス 「がん統計」 (厚生労働省 人口動態統計)	18.4	16.2	(人口10万対)
			女性			5.8	5.4	(人口10万対)
		胃がん	男性			9.0	8.2	(人口10万対)
			女性			3.7	2.8	(人口10万対)
		肝がん	男性			5.7	6.0	(人口10万対)
			女性			1.5	1.6	(人口10万対)
		大腸がん	男性			12.4	10.1	(人口10万対)
			女性			7.2	5.0	(人口10万対)
		乳がん	女性			10.4	11.3	(人口10万対)
		子宮がん	女性			5.1	4.2	(人口10万対)
		膵がん	男性			8.8	8.4	(人口10万対)
女性	5.4		5.5	(人口10万対)				
共生	がん患者の在宅死亡割合		R4年 (2022) (毎年)	人口動態調査	28.6%	22.8%		